



広 い 心

学校便り 14号
令和7年 3月21日
宮古島市立 狩俣小学校
発行者：校長 村吉博勝

令和六年度卒業式



3月14日、令和6年度の卒業式が来賓、保護者、地域の方々をお迎えして華やかにも清々しく執り行うことができました。今年の卒業生は二人でしたが、心温まる卒業式になったのではないかと思います。式では、卒業生がそれぞれの夢や親への感謝の言葉が語られ6年間の成長を感じられた瞬間でした。卒業生の二人は、それぞれ違う中学校への進学されます。一人は、自分の夢を叶えるために沖縄本島の中学校へと進学されます。親元を離れ、自らの夢のために行動する姿には、誇らしさを感じます。もう一人は、狩俣地区の中学校へと進学されます。少ない入学生になるかとおもいますが、小学校の時の先輩たちもいるので、先輩たちと交流を深めながら楽しい有意義な中学校生活を送ってほしいと願います。二人のこれからの成長がとても楽しみです。大きく成長した姿をどこかで見る如果能够できれば幸いです。「卒業おめでとう」



「広い心 ありがとうございました」



保護者の皆様、そして地域の皆様。3年間ありがとうございました。今度の人事異動で狩俣小学校を離れることになりました。狩俣小の校長として赴任して早三年、学校だより「広い心」の発行を通して、学校の様子や行事、子ども達の頑張りををお伝えしてきました。十分にお伝えできなかったこともあり、もう少しお伝えすることができたのではないかと反省はありますが、開かれた学校を目指し、学校と保護者、地域の垣根を低くし、子どもたちの教育に学校だけでなく、保護者や地域の方々とも一緒になって取り組めたことは本当に感謝です。子どもたちの成長を願う地域の方々の思いは熱く、本当に素晴らしい地域です。そういった中での学校づくり、子どもたちの資質・能力を育む取り組みは、私にとってどれも思い出にのこるものばかりです。また、この三年間、地域のいろいろな行事や文化に触れる体験はどれも新鮮で、楽しい体験でした。狩俣小を離れますが、これからも、狩俣の子どもたちが自分の夢をもち、「広い心」をもって大きく成長していくことを願うと共に、これからも地域が発展していくことをお祈りしております。 「ありがとうございました」

